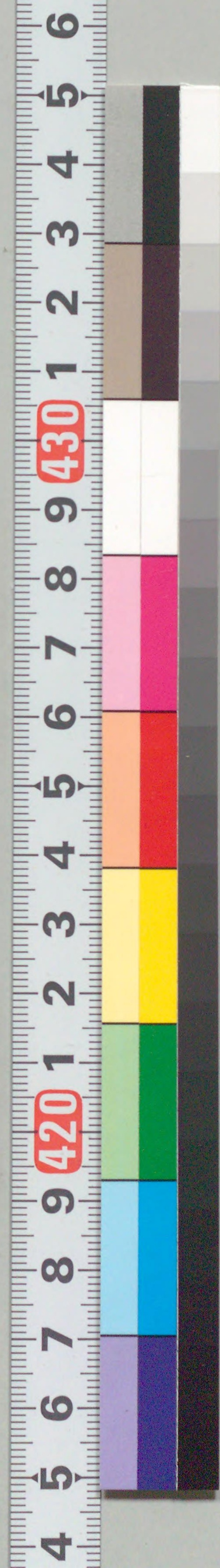


207
1213

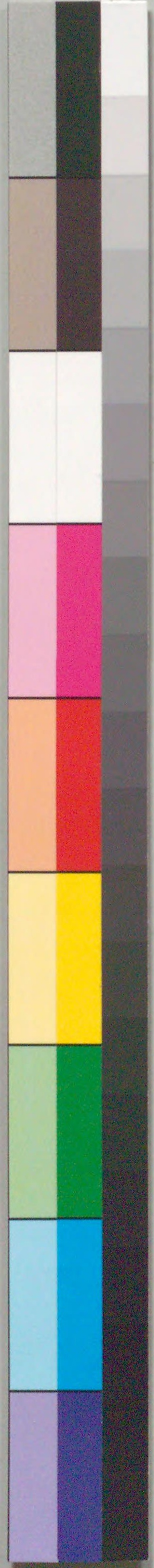
三
大惣

国立国会図書館 時話今櫻野駒 6巻 207-1213



ガラス使用

時話 今櫻 野駒
小笠原判兵衛
於子判兵衛
金水 貞齋 画作



壹 義 卷



葛城山の土岐
 若旦那愛ておれたら
 謹んでます
 合たるを四方の御得意
 作者が巧拙且く
 細細の筆頭
 午戌はくさる
 此部の李武が若黨
 實の良門が年下
 山住松平太

その源の頼光が大江山で鬼と退治し葛城山の土岐を伐平げると今の世ふ
 其の名を傳へる感も細金時貞光季武俗母四天王と称ゆ人々
 よくその君と輔佐あして君臣和合しうとてゆふあり戯作者画工と
 和合せの名と遺まてゆふといふまとの書肆が笑自とるごときハある
 ざらざらと情發しと編りてあげたる繪双紙も僅丁枚限りのたゞバ
 心あましく詞たたくと業平朝臣が赤哥と讚嘲しう古今のたゞ
 久紀の貫之が筆のたゞそまのなるうち三十一文字を定する三十枚
 あと巻中に述はくせん。その画工の午小委孫て目さるのうとて

小判
 判兵衛
 松亭金水作 全部六冊
 時話今櫻野駒
 貞齋主人画 發兌
 發行書肆
 江都京橋南傳馬町
 壹丁目紅英堂
 葛屋吉藏上梓



吉原
みくら
あ



おらぎ次
一二橋の
夜明
其角
嵐雪
あはれ梅
たはろ
月乃

蜘蛛の切丸
の劔

刀屋
判兵衛

刀屋の番頭
長八







二史卷











卷之三



天保三年壬辰春新彫 中編

於ちよ
半云情
小云情
劇云情

時話今櫻野駒

とき しま さくら の はま

松亭金水作

紅英堂

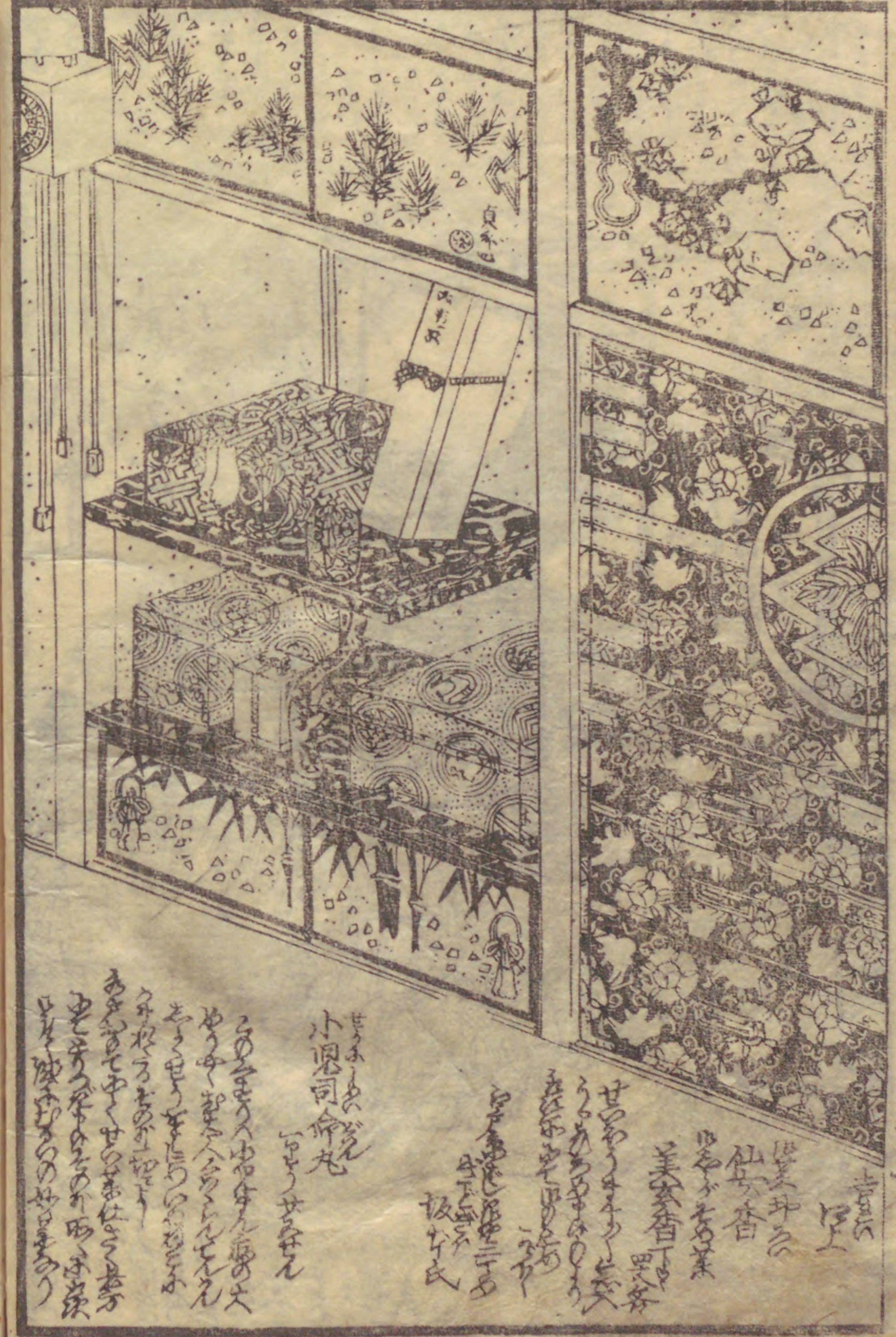
貞齋主人畫

葛屋吉藏梓





卷之四









繪草紙問九
紅英堂刊行











卷之六









207
1213

天保三年壬辰新春新版相

花楼木春夜語

全四冊

柳亭種彦作
溪齋英泉画

略海人手管采珠

全六冊

墨春亭梅谷作
歌川國貞画

忠臣藏替目伊呂波

全四冊

墨川亭雪齋作
歌川國貞画

時話今櫻野駒

全六冊

松亭金水作
貞齋画

娘曾我振袖日記

全八冊

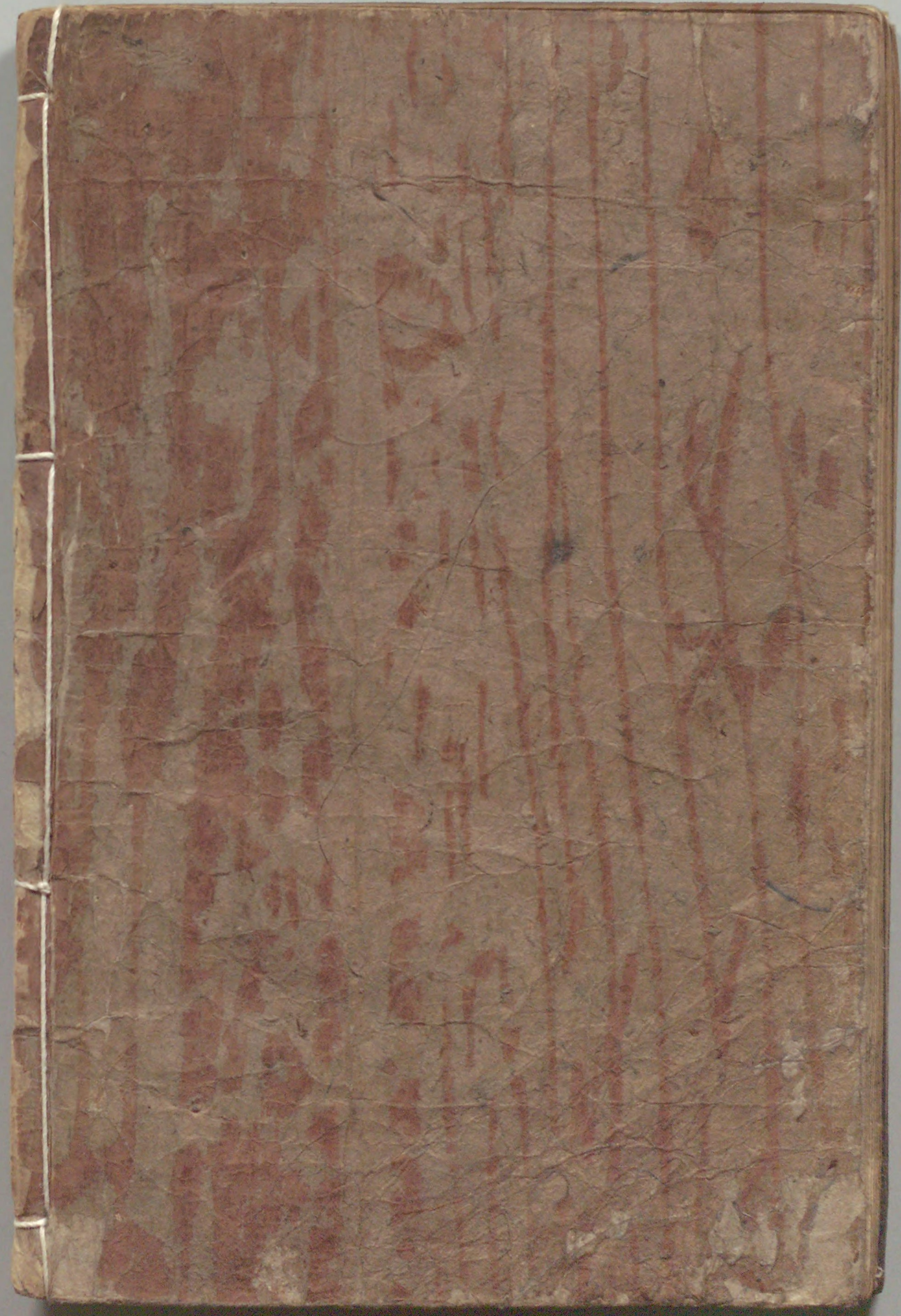
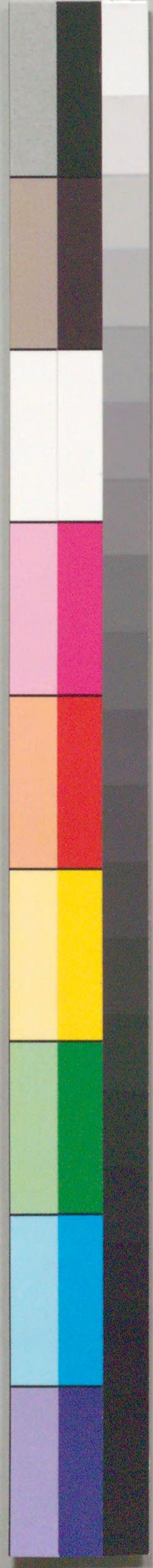
雪齋墨春亭梅谷作
貞齋画

仙女香
美玄香

紅英堂

寫屋吉藏





国立国会図書館 時話今桜野駒 6巻 207-1213

ガラス使用